

別記様式(第4条関係)

会議録

| | |
|--|-------------------------------|
| 会議の名称 | 令和5年度 第1回加東市健康増進計画等策定委員会 |
| 開催日時 | 令和5年8月30日(水) 13時30分から15時10分まで |
| 開催場所 | 加東市役所 2階 保健センター 健康教育室1 |
| <p>議長の氏名 (岡本 希)</p> <p>出席委員の氏名</p> <p>岡本 希 神 弘文 服部知一 春藤由里子 山本貞江 深田初枝 岸本豊子 楯本俊也 井上裕子 小林大貴 鷹尾義人</p> <p>欠席委員の氏名</p> <p>漆下重貴</p> | |
| 説明のため出席した者の職氏名 | |
| <p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>健康福祉部長 近澤孝則、健康福祉部参事兼健康課長 細川公代、 健康福祉部健康課副課長 岩崎香織、下崎ユカ、 健康福祉部健康課主査 浅葉由起、吉田里奈、健康福祉部健康課主事 立貝萌</p> | |
| <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員長、副委員長の選出</p> <p>委員長 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科教授 岡本 希 様 副委員長 小野市・加東市医師会 監事 神 弘文 様</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 加東市健康増進計画等の策定について</p> <p>(事務局)</p> <p>加東市健康増進計画等策定委員会資料について説明</p> <p>(議長)</p> <p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。質問のある委員の方は挙手をお願いします。</p> <p>(委員)</p> <p>アンケートの対象者はどのように考えていますか。</p> | |

(事務局)

アンケートは3種類です。健康増進計画策定のためのアンケートとして成人向けのは20歳から65歳未満の方を対象に2,000人に、同じく健康増進計画アンケートで、6歳未満児の保護者用は6歳未満児の保護者の方を対象に無作為抽出で1,000人の方に郵送予定です。また自殺対策計画のアンケート調査は20歳以上の市民の方1,000人に無作為抽出で郵送予定です。

(委員)

自殺対策計画アンケートは1,000部、無作為でということですが、職業によってかなり変わってくると思うのですが、サラリーマンとか自営業とか、そういうことで分けることはできないのですか。

(事務局)

市の住基情報には職種についての情報はありません。職業で分類するのは難しいため、年齢別の無作為抽出としています。

(委員)

健康増進計画等に入るのかどうか微妙ですが、こころの健康の部分がこれからは必要だと思います。楽しみづくりがこころの健康に非常に大事だと思います。例えば、食べる楽しみや旅行する楽しみ、娯楽など、そういう楽しみをつくるのが、健康づくりの一環になるのではないかと考えています。

(事務局)

加東市健康増進計画のためのアンケート調査の8ページを見ていただくと、「こころの健康状態」のことや、「日常生活で悩みやストレスを解消するためによく行うことは何ですか」という設問は入れています。委員がおっしゃるように、自分で楽しみを持つことや、生きがいづくりは非常に大切なことであると考えているため、設問としては、どうすることで楽しみを持ってもらえるかも含めて聞けたらと思っています。追加したほうが良いことがあれば、具体的なご意見をいただきたいと思っています。

(委員)

生きがいづくりが一般的にストレス解消となります。解消というのは、表現的に後ろ向きの話だと思いますので、何か前向きな取組が表現できないかと思いました。

(事務局)

ただいまのご意見について、設問数が多くなると回答する方の負担が増えるので、設問の変更、追加については、事務局で検討させていただきます。

(2) アンケート調査について

(議長)

アンケートの中身については事務局からの説明を聞き、審議するという流れになります。事務局の説明を聞いて、アンケートの項目で追加、変更等してもいいのではないかとすることがあれば、その時点での意見をお伺いしたいと思います。事務局からアンケート調査について説明をお願いします。

(事務局)

資料「加東市健康増進計画策定のためのアンケート調査(案)」、「加東市健康増進計画策定のためのアンケート調査(6歳未満児の保護者用)(案)」、「いのち支えるこころの健康に関するアンケート調査(案)」に基づき説明。

(議長)

以上、説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。質問のある委員の方は挙手をお願いします。

(委員)

アンケート調査の対象が20～65歳未満になっているのは、65歳以上の人は高齢者福祉計画の対象だから、65歳未満になっているのですか。

(事務局)

以前からそういう区分でアンケートを実施していたということもありますが、高齢者保健福祉計画の中で、高齢期の方の生きがいづくりや社会参加といった計画の内容が含まれていくこともあり、健康増進計画では20～65歳未満でアンケートをとっています。

(委員)

国がアンケートのモデルを作っているのですか。

(事務局)

加東市は、ずっとこのような形でアンケート調査を行ってきました。前回との比較できるように同じ対象にしています。

(委員)

最近、特に高齢の女性の方がウォーキングをされています。70歳を超えた方が多いように思うのですが、意識して健康づくりに励んでおられるので、そういう方々の意見や考えも大事なのではないかと思いました。

もう1点、前回のアンケート調査の回収率を教えてください。アンケート調査が3種類あるが、無作為なので重複する可能性があると思いますが、重複しても問題ないのでしょうか。

(事務局)

前回のアンケートの回収率は、20歳以上65歳未満が28.5%、6歳未満児の保護者の分が45.8%、自殺対策計画の分が32.6%でした。今回のアンケートの抽出について、予定では3種類あり、無作為なので重なることもありますが、それぞれ対象者が重ならないように考えています。まだ検討段階なので、早急に検討して決定予定です。

(委員)

前回の回収率28.5%は非常に低いと思いますが、今回、回収率を上げるためにどのような対策を考えておられますか。

(事務局)

QRコードを利用して、WEBでの回答が簡単にできるので、協力いただける方が増えるのではないかと見込んで、回答方法が選択できるような対応を考えています。

(委員)

そうであれば、市が関係する会合等でもっと啓発されたいと思います。若い人は自分が健康だから無関心だと思いますので、いろいろな機会を通じて啓発していただきたいと思います。

(議長)

行政が郵送法で行うアンケート調査の回収率としては、特に低いわけでもないですが、高くもない状況だと思います。ご意見があったように、郵送料がかかっているのです、なるべく回収率は上がってほしいところだと思います。アンケートを行うという事前の通知のようなものができれば、回収率が上がるのではないかというご意見だと思うんですけども、そういう取組を考えていただけそうでしょうか。20～64歳という年齢は、回覧板もほとんど見ない世代だと思いますので、難しいでしょうか。

(事務局)

回収率を上げて、一人でも多くの方の意見を聞きたいと思っています。前は個別通知だけでしたが、今回は回答の選択肢を増やすとともに、啓発をもう少しという意見をいただいたので、広報については締切の関係で掲載が難しいですが、ホームページや文字放送等、市で使えるものを検討して、周知について考えていきたいと思っています。

(議長)

QRコードが付いているので、これが今回の新しい取組です。これで回収率が上がることを期待したいと思います。3種類あるので、重複する可能性があるということですが、懸念されることとしては、重複したら本人の負担が大きいということかと思っています。1つ目を抽出して、最初の2,000人に抽出された人は、次のアンケートの対象者からは省いた中で、次の抽出をするというやり方であれば重ならないと思います。その辺りのことは、業者に、重ならないようにしてほしいという依頼の仕方をするか、重なっても構わないということなら、それはそれでもいいと思います。

(事務局)

対象の方の抽出については、庁内のデジタル推進課の電算部門に依頼します。市民の負担もありますし、重複しすぎると回収率も下がるかもしれません。無作為なので、条件を付けるのはおかしいことですが、事務局で検討させていただきたいと思っています。

(議長)

65歳以上は高齢介護課でも調査をしているので、市全体としては、成人も高齢者向けのアンケート調査も実施して、政策に反映していく予定であるということですね。

(事務局)

そのように考えて提案させていただいています。地域福祉計画が上位計画であるということで、令和5年度については、アンケートを全世代でとる予定にしているので、内容についても、活用できるデータは共有していきたいと思っています。

(議長)

市全体としては、全年齢を網羅できているということですね。成人向けのアンケートに、プラス思考になるような質問を検討してもいいのではないかという意見がありましたので、これはまた事務局の方で検討いただければと思います。

「いのちを支えるこころの健康のアンケート」で、こころの健康と職業というのが、非常に関係があるということが分かっていますので、職業に関するデータがあってもいいのではないかという意見だったと思います。

(委員)

健康増進計画のアンケート結果を回収して、今後、市民の健康に役立てていくと書かれてありますが、この中の食生活のところで、食べているか食べていないかだけで、健康かどうかを判断するということでしょうか。「主食、主菜、副菜」しか書いていないので、栄養のバランスを気にしていないような気がしていますが、中身がもっと重要だと思う。塩分に関しての質問など、知識がない人を見ると逆にリスクになる設問もあると思います。その辺をフォローできる内容を補足して聞くほうが、情報提供もしながら、情報回収もできるのではないかと思います。

(委員)

2 ページの問 9-1、「ふだん、どのような朝食を食べていますか」という設問になっていますが、栄養的に言えば、バランス良く 3 食のうち、全ての食事をほぼ毎日食べることが理想になるが、これは朝食についてだけ尋ねています。他に、1 日の摂取量を問うような設問はないのでしょうか。

(事務局)

朝食を抜いたり、しっかり食べていないという課題がある中で、朝食のことを重点的に聞きたいということで、朝食だけをピックアップしています。

バランスの取れた食事という点で、先ほども、もう少し詳しいデータがという意見がありました。このアンケートは具体的な栄養調査というほどの内容ではないため、食生活を考えていく上での大きな目安を尋ねています。生活の中でも意識して過ごしていただくことが大切ではないかと考え、同じ設問にさせていただいています。

補足説明が分かりにくいというご意見がありました。誤解を招かないようなアンケート調査にしたほうがいいため、こういったところが分かりにくいところがあれば教えていただきたいと思います。

このアンケート案は課題をピックアップして設問を設定しています。設問数を増やして 3 食について聞くこともいいかもしれませんが、多くなりすぎると回答率が下がる可能性があります。

職業についてですが、仕事に就いているかどうかでも大きな影響があるかもしれないので、職種の設定を自殺対策のアンケートに追加することを考えたいと思います。

(議長)

食事についての質問・指摘、ありがとうございました。非常に重要な点だと思います。市の方も苦勞されているのではないかと思います。食事に関する簡単なアンケート調査で 1 つずつ、細かい品目について「週に何回食べていますか」と聞くことで、栄養摂取量に換算できますが、その設問を入れることで 4～5 ページ分が増えると考えますと、今回は組み込むのは難しいため、代表的なもので、他の自治体でも聞いているようなものを取り上げていると思います。

若い世代、20～30代で 10 人に 1 人以上、朝食を食べないというデータも出ているため、朝食についてアンケートをとろうという方針だと解釈しています。朝食を食べている人は夜も食べているだろうし、朝食を抜いているところが問題なので、問 9 で朝食については、しっかりと、何を食べているかも含めて尋ねておこうということだと私は解釈しています。

(委員)

このアンケートの内容はいつから使われているのですか。

(議長)

国の健康づくり政策があるので、都道府県市町村で比較したりするため、加東市独自の質問項目もありますが、他の自治体とも比較できるように、同じ項目も入れておく必要があります。

(委員)

ダイエットをしている人は、朝だけの質問になると、一般の人と全然違う回答になると思います。それがダイエットではなくて減量だとしても全然違う内容になるし、年齢によっても違ってくると思います。質問項目が増えるのはよくないと思いますが、内容を変えたほうが良いと思います。

(議長)

変えてはいけないことはないですが、変えないほうが良い部分は何項目かあります。国や都道府県、市町村の方針があり、12年前、6年前からずっと推移を見ているものがあるので、それについては、今回もこのアンケートに盛り込んでおいたほうが良いものになります。それ以外は追加したり、修正したりすることはできます。それは今審議をしているので、意見を述べていただきたい部分です。食事以外のところでも約半分は残しておきたい項目であり、年次推移を追跡して見ておく必要あるものになります。

(事務局)

事前にお配りしている「健康・笑顔・まちプラン」の99ページを見ていただくと、栄養・食生活の指標にしている項目を、いったん目標値等で入れています。国で持っている目標値に関しては、加東市としても実態を把握するというところで、設定している項目があります。例えば食育に関心がある人の割合や、毎日2食以上、主食・主菜・副菜がそろった食事をする人の割合については、国でも指標があるので、同じ内容の聞き方で聞いています。そういったものは、外せないと思っています。市では、もっと野菜の摂取量を増やしたり、高血圧の方が多いため減塩対策に取り組むたいと考えているため、設定しているものが1日の野菜摂取量350グラムに関することや、薄味を心がけている人の割合に関する内容を盛り込んだアンケートとなっています。そのほかにも、指標とはしていませんが、国の基準があるものや、市の計画の評価指標として使っている部分は、比較をしたいのでアンケートにあげています。

(議長)

ダイエットをしている人と、していない人では、食生活がかなり違うだろうというご意見は、もっともだと思います。例えば、食事の質問の最初の方に、「現在、ダイエット中ですか」という質問を追加してもいいとは思いますが。行政が見たいデータは、一般的な食生活になるので、「いいえ」と答えた方のデータとなると思います。ダイエットをしている人の割合のデータがもし必要なら、1問追加してもいいかと思えます。

(委員)

この質問は健康的な人が作っているのかどうか。明らかに不健康な人がこの質問を考えているのだったら、全く改善しないと思います。誰がどのように作られているのかが気になることです。

(議長)

アンケート調査の背景ですが、もともと「健康日本21」は、2000年に国が健康増進政策を全国的に進めていこうということで、細かく項目を挙げて実態調査を行い、それに対して目標値を立て、そこを目指して、市町村が健康増進の事業を進めていくという流れがありました。その実態調査で使われてきたアンケート項目が今回もこの項目の中に入っています。これまでの長い歴史の疫学調査で、健康長寿に関連しているものをアンケート調査に盛り込んで使っているという経緯はあります。例えば、塩分を控えていたほうが高血圧のリスクも下がって、寿命が長いという疫学調査の結果があります。また、朝食もきちんと食べている人のほうが、将来、健康長寿につながるという、多くの疫学調査があるため、そこから文言を利用してアンケート調査が実施されています。

1人の人が、その人の思う形で作っているのではなく、科学的に疫学調査で、高齢になっても元気に過ごせるというエビデンスに基づいてアンケートが作られています。食事についても、運動についても、いろいろと聞けたらいいですが、アンケートは成人が約10分で回答できるものでないと、やってもらえないので、大体10ページに収めようとしていると思います。

(委員)

「いのち支えるこころの健康に関するアンケート調査」の1ページ、相談窓口の電話一覧の中の下から2つ目、「加東健康福祉事務所（保健所）の専門相談」を載せてありますが、月曜から金曜日の9～17時は、保健師の相談はしていますが、専門相談ということであれば、精神科医との予約制になっていますので、分かるようにしていただけたらと思います。

アンケートのボリュームが大きいと思いますので、4ページ、「2. ない→ 問10～」と書いてありますが、このように必要な質問に進んでいけると回答しやすいのでいいと思います。

(委員)

アンケートがどうこうではなく、私は、心細やかに「自殺」という言葉も、相手の重荷になってはいけないとか、相手に対してすごく心を遣っていただいているアンケートだと感じています。

回収率を高める方向も考えるべきですが、回収できていない人のほうに、こころの問題があるかもしれないので、それが大切ではないかと思いました。

(事務局)

回収率に関して、市のホームページ、文字放送、ケーブルテレビ、防災メール、Facebook等を活用することも含めて検討して、できるだけ周知していきたいと思います。

回答されない方のほうが、健康に関心が低く、さまざまな問題を抱えている可能性があると思いますが、アンケートの結果だけで全ての計画を立てるわけではなく、市の状況や健診のデータ、事業の中での聞き取り等の情報も網羅した中で、どういうところに取り組んでいくかを今後ご検討いただくようになってきます。市民の皆さんのご意見を少しでも反映したいということで、アンケート調査を行っています。

(議長)

個人的には、加東市は回収しているほうだと思っています。公衆衛生の分野で、研究のためにアンケートをとることがありますが、働く人を対象にした場合、約20%です。病院のお医者さんを対象にアンケート調査をしたら、やはり忙しいためか、回収率が低かったりします。加東市でも、ホームページへの掲載等、幾つかご提案いただいたので、そちらに期待して、前回よりも回収率が上がればいいと思います。

(委員)

6歳未満児のアンケートの間52、「あなたは、子どもたちが心も体も元気に育っていくためには、どのようなことが重要だと思いますか」という設問で、自分が子育てをしていたときのことを思い出すと、選択肢のどれにも頼りたいとは思っていませんでした。どうかいい子に、皆さんに迷惑をかけない子に育ってほしいという思いだけで、無我夢中で自分一人で頑張ったような気がします。専業主婦が多い時代だったので、子どもには、どうしてもきつくあたっていたかもしれません。そのため、選択肢1「親の健康意識の向上」のところに、「健康」という言葉だけではなく、「どうかいい子に、どうか皆さんに迷惑をかけない子に」というような項目を1つ入れられないでしょうか。

(委員)

私も孫を持って、いろいろと感ずることがあります。やはり人格形成というのか、人間としての心に関することも何か付け加えていただけたらと思います。

(議長)

関心があるのは、子どもの心が健やかに育つというようなことでしょうか。問53に自由記入欄がありますが、書かない人のほうが多いと思いますので、質問をつくってもいいかもしれません。検討していただきたいです。

(委員)

問10～14に、子どもの食事の様子を問う設問があります。この中で親子の愛情の交換やコミュニケーション、感謝であるとか、そういうものが聞かれているので、それで十分カバーできるのではないかと思います。

(議長)

質問を追加できるかどうかは、ページ数のことも関わるので、事務局にお任せするというところでよろしいか。

【一同、異議なし】

(議長)

全体を見渡して、他に意見はございませんか。特になければ、追加を検討する項目が幾つか出ましたので、それは事務局に検討していただきます。9月中旬には印刷して、10月発送が事務局の予定です。印刷までの間に、今日検討した修正事項について、事務局で検討してもらうこととなります。いただいたご意見をもとに、事務局と委員長である私が、皆さまの代表という形で確認させていただきます。それでアンケートの最終版が確定して、9月中旬に印刷という流れになります。そのようなスケジュールでよろしいでしょうか。

【一同、異議なし】

(議長)

その他全体を通じて、ご意見、ご質問がなければ、本日の議事を終了します。それでは、事務局に進行をお返しします。

(3) その他

(事務局)

次回の策定委員会の日程等について説明

6 閉会

(副委員長)

今日はお忙しいところ、皆さまにご出席いただき、忌憚のない意見をいただき、ありがとうございました。巷ではコロナやインフルエンザなど、いろいろな感染症がありますが、健康増進はそれらにも関係していますので、感染予防も頑張ってくださいと思います。

(事務局)

以上で令和5年度第1回加東市健康増進計画等策定委員会は閉会します。
本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

令和5年 10月 17日